

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	38133	
事業名	図書・情報館運営管理費						
評価担当課	所属名	教)中央図書館 利用サービス課					
	課長名	浅野 隆夫	担当者名	小森 桂	電話番号	011-208-1113	
施策名	主	-					
	副						
アクションプラン	<input type="radio"/> 対象	<input checked="" type="radio"/> 対象外	戦略ビジョン	<input type="radio"/> 対象	<input checked="" type="radio"/> 対象外		
事業の性質	<input checked="" type="radio"/> 経常経費	<input type="radio"/> 臨時的経費					
	<input type="radio"/> 内部管理	<input type="radio"/> 法定経費	<input type="radio"/> 指定管理				
事業内容	実施形態	<input type="radio"/> 直営	<input checked="" type="radio"/> 一部委託	<input type="radio"/> 全部委託	<input type="radio"/> 補助助成	<input type="radio"/> その他	
	目的	短期	・市民の人生の様々な段階(進学、就職、転職、子育て、介護など)で抱える課題の解決について情報面から支援し、誰もが働きやすい、暮らしやすい環境作りに寄与する。 ・市内外に札幌の魅力を発信し、都心のにぎわい・活力維持に寄与する。				
		長期	同上				
	取組内容	図書・情報館の運営管理を行う。 ①資料7,000冊、新聞100種類・雑誌500種類の購入、②札幌の魅力に関する映像を映し出すデジタルサイネージSapporoWindowの保守、③図書館システムの保守、④座席予約システムの保守、⑤1階貸出返却カウンターの業務委託、⑥利用者に対するレファレンスサービス、⑦仕事や暮らしに役立つセミナーの開催、⑧出張相談窓口の運営など。					
実施結果	①資料5,000冊、新聞90種類・雑誌500種類の購入、②札幌の魅力に関する映像を映し出すデジタルサイネージSapporoWindowの保守、③図書館システムの保守、④座席予約システムの保守、⑤1階貸出返却カウンターの業務委託、⑥利用者に対するレファレンスサービス、⑦仕事や暮らしに役立つセミナーの開催、⑧出張相談窓口の運営など。						
事業実施における工夫点	開館翌年度以降も利用者が新鮮な情報を利用できるように、また、利用状況やリクエストをふまえて蔵書を増やせるように、購入スケジュールを見直した。						
対象者	市民、市内に通勤・通学している他市町村民、来訪者等			開始	0 年度	終了	0 年度
関連法令・条例・要綱等	図書館法・札幌市図書館条例・札幌市図書館条例施行規則・札幌市民交流プラザ条例・札幌市民交流プラザ条例施行規則						
他都市の状況	・千代田図書館 ・日比谷図書文化館 ・武蔵野プレイス ・新宿区立角筈図書館						

◎事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算	
事業費	134,829	138,000	133,545	136,000	
うち特定財源	9,664	9,916	9,916	6,779	
人工	7.0	7.0	7.0	7.0	
人件費	50,400	50,400	50,400	50,400	
計(事業費+人件費)	185,229	188,400	183,945	186,400	
事業費の内訳	令和3年度決算	・資料購入費 23,349 ・非常勤職員報酬等 55,984 ・システム保守費 9,626 ・機器リース 11,926 ・その他費用 32,660			
	令和4年度予算	・資料購入費 22,636 ・非常勤職員報酬等 56,033 ・システム保守費 11,303 ・機器リース 12,042 ・その他費用 33,986			

◎検証(振り返り)

活動指標1		指標名	蔵書冊数(冊)		
活動指標2		指標名	調査支援サービスの提供件数(件)		
成果指標1		指標名	来館者数		
成果指標2		指標名			
		令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定
		45,364	45,000	46,179	46,000
		令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定
		2,736(休館有)	3,000	1,999(休館有)	3,000
		令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標
		415939(休館有)	450,000	411070(休館有)	700,000
		令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標
項目	判定	理由			
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	新型コロナウイルス感染症の影響もある中で一日約1,500人の来館があり、ビジネスパーソンや来館者だけでなく高齢者や主婦層も多く訪れ、仕事や暮らしの課題解決について情報面で支援できている。また大通・創世交流拠点のにぎわい創出にも寄与している。令和3年度の実績は来館者数が41万人、新規登録者数2,912件、調査相談件数は1,999件だった。			
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	ビジネスパーソン等に役立つ図書館として仕事や暮らしに関する専門性の高い資料をそろえ、多くの利用者に情報提供できている。			
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	周辺企業に対して行った図書・資料についてのアンケートなどの開館前に実施した市民ニーズ調査を基に、引き続き効率的に資料購入等を行っており、官民間問わず他の施設を参考にするなど、適切に事業を進めている。座席予約システム等の導入により、利用者の利便性が向上するとともに、業務効率化により職員は選書や資料案内等に集中できる。専門機関との連携強化も努めており、セミナー共催のほか、無料相談窓口の定期開催などソフト面での充実も図っている。			
対象者の満足度 (対象者のニーズに応えているか)	A	令和3年10月に実施したアンケートでは、「全体的な満足度」について、「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせて95.8%と一定の評価が得られた。			
市民参加の実施	<input checked="" type="checkbox"/> 企画 <input type="checkbox"/> 実施 <input checked="" type="checkbox"/> 評価 <input type="checkbox"/> 対象外		市民参加結果への対応		<input checked="" type="checkbox"/> 回答 <input checked="" type="checkbox"/> 反映
今後の改善点	蔵書はよく読まれているが、データベース検索や専門機関による相談窓口(経営、法的トラブル等)の利用は比較的少なく、課題解決型図書館として特徴的なサービスについて十分知られていない。利用促進のためにPRを行ってきたが、今後も継続していく必要がある。				
前回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
今年度取り組んだ見直し内容	自治体向け関連のデータベース等の庁内利用の促進を目的とし、データベースの体験会を行った。また、データベースのセミナーを開催した。			見直し効果額 (前年度)	0 千円
今回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
評価の理由	これまでの図書館(中央図書館87万冊、各地区図書館8万冊)に比べて少ない蔵書数(4万冊)ではあるが、多くの来館者に利用され、利用者の満足度も高い。				
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	○ 改善 ● 現状維持 ○ 休止・廃止 今後も利用者が求める情報に適した選書や、来館のきっかけとなるセミナー開催等について、実施していく。			
	予算	● 拡充 ○ 現状維持 ○ 縮小 ○ その他 課題解決に役立てるためにも図書館サービスの量的・質的拡充を図るための図書購入予算・座席予約やデータベース閲覧にかかる機器更新予算の確保が重要である			見直し効果額